

投光器 学習版

国 労 東 海 貨 物 協 議 会
2013 年 12 月 25 日 No.48
発行責任者 鈴木 和巳

残すところあと数日。 職場は何かと慌しい状況です！

各職場で空コン・輸送枠が足りない？

年末年始期を目前に控え、最後の週となりました。貨物会社の状況は10月末から順調に推移し、対計画を上回る勢いで動いています。そのためか東海支社管内の各駅で荷物は有るものの空コンが足りなくなってきました。通運からは「トラックが捕まらず鉄道コンテナに流れている」との情報もあります。また、コンテナのみならず輸送枠も非常に厳しい状況です。



駅では当日の集荷に使うコンテナが無いなどの悲鳴も聞こえてきます。では、コンテナは何処にいつてしまったのでしょうか？ ①全国的に輸送量が伸びている状況で列車への積載率が上がっている。②来年配達 of 荷物が先送りされ未配達コンテナが増えている。③コンテナ輸送の特性として一方通行になり空コンの所在が偏っている。④点検コンテナ、検修コンテナ、廃棄コンテナの増加、等の原因が考えられます。①は貨物会社にとっては喜ばしいことですが、②はコンテナが倉庫代わりに使われるため微妙な感じ、③④については貨物会社の責任において解消しなければならない問題です。現在、豊橋・浜松等から沼津駅に「トラックで取りに行けば空コンを分けてもらえるか？」等の問い合わせもきています。コンテナの適正配備は中々難しい問題ですが何とかしなければなりませんね！

対計画を上回った暁には社員への還元をさせることが重要です！

一方的に労働条件を切り下げられている貨物労働者ですが、過去の社長の言葉に「黒字にして上天井を食べよう」とありました。しかしながら黒字になっても我々は上天井どころか激安牛丼くらいしか食べることが出来ない状態です。「飴と鞭」と言いますが、飴を与えられず鞭で打ちのめされ続けた貨物労働者は悲壮感で一杯です。



前号でも記載しましたが、いつまでもメゲテはいられません。貨物会社に対し社員犠牲の経営を止めさせ、労働者への適正分配を行わせるよう行動を起こさなければ貨物社員の未来はなく、自らの生活向上のために立ち上がる必要があります！



今年度の期末手当における実績の悔しさをバネにして、来春闘ではベア獲得、労働条件の改善に向け闘いを強化しなければなりません。

2年間にわたり発行してきたこの学習版ですが、今回を以って一旦終了します。
今後は闘いの時期を中心に発行していきます。

この投光器学習版は国労東海本部のホームページにも掲載されています。

国労東海本部のURLは <http://www.kokurotokai.com> です！